科目名 Subject	フェイシャルエステ Aesthetic Salon Techniques (Facial)		教員名	ｴｽﾃﾁｰﾑ	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	2
必修／選択	選択	授業形態	実習	時間	60
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	△	○	○	◎
科目の概要	日本エステティック協会認定フェイシャルエステティシャン資格習得に向け協会の内容に沿って学習する。				
授業の目標	エステティシャンとしての基礎技術、理論を修得し、施術の目的、高齢者への対応などを理解したうえで実践する能力を身に着けることができる。				
時間外学習 （予習・復習）	エステティック技術、理論を理解し資格取得を目指すため、予習、復習しておく。各回の予習復習は概ね60分～90分を見込みます。				
教科書・教材	教科書	日本エステティック協会テキスト			
	教材	フェイシャル教材			
	使用設備・備品	フェイシャル室			
	参考文献				
評価方法	平常点20%（小テスト、身だしなみチェック、提出物等含む） 試験80%（実技テスト）				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。				
履修上の注意	授業中の居眠りや私語など他の学生に迷惑がかかる様な行為が目立つ場合は、欠席扱い又は実習室を退出させる場合もある。 ※受験料、問題集は各自購入するものとする。学内での実技試験に合格後、外部にて筆記試験を実施。				
本科目履修と関連する資格	資格名	日本エステティック協会認定フェイシャルエステティシャン資格			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	ポイントメイククレンジング	目元、口もとのメイクを落とす目的を理解し正しい手順で行うことができる。	ポイントクレンジングの手順を復習しておく
第２回	ポイントメイククレンジング	目元、口もとのメイクを落とす目的を理解し正しい手順で行うことができる。	ポイントクレンジングの手順を復習しておく
第３回	ポイントメイククレンジング・スキンアップ	メイクを落とすことと化粧水を塗布する手順を理解し正しい手順で行うことができる。	顔全体のクレンジング、化粧水の目的、手順を理解する。
第４回	ポイントメイククレンジング・スキンアップ	メイクを落とすことと化粧水を塗布する手順を理解し正しい手順で行うことができる。	顔全体のクレンジング、化粧水の目的、手順を理解する。
第５回	ポイントメイククレンジング・スキンアップ	メイクを落とすことと化粧水を塗布する手順を理解し正しい手順で行うことができる。	ポイント、顔全体クレンジング、化粧水塗布の手順を復習しておく。
第６回	ポイントメイククレンジング・スキンアップ	メイクを落とすことと化粧水を塗布する手順を理解し正しい手順で行うことができる。	ポイント、顔全体クレンジング、化粧水塗布の手順を復習しておく。
第７回	フェイシャルマッサージ（軽擦法）	軽擦法の目的・効果を理解し、正しい手順で行うことができる。	フェイシャルマッサージ（軽擦法）の目的、効果、手順を復習しておく
第８回	フェイシャルマッサージ（軽擦法）	軽擦法の目的・効果を理解し、正しい手順で時間内に行うことができる。	フェイシャルマッサージ（軽擦法）の目的、効果、手順を復習しておく
第９回	フェイシャルマッサージ（強擦法）	強擦法の目的・効果を理解し、正しい手順で行うことができる。	軽擦、強擦法の目的、効果、手順を復習しておく。
第１０回	フェイシャルマッサージ（強擦法）	強擦法の目的・効果・手順を理解し、時間内に行うことができる。	軽擦、強擦法の目的、効果、手順を復習しておく。
第１１回	フェイシャルマッサージ（揉撚法）	揉撚法の目的・効果を理解し、正しい手順で行うことができる。	軽擦、強擦、揉撚法の目的、効果、手順を復習しておく。
第１２回	フェイシャルマッサージ（揉撚法）	揉撚法の目的・効果・手順を理解し、時間内に行うことができる。	軽擦、強擦、揉撚法の目的、効果、手順を復習しておく。
第１３回	フェイシャルマッサージ（打法）	打法の目的・効果を理解し、正しい手順で行うことができる。	軽擦、強擦、揉撚、打法の目的、効果、手順を復習しておく。
第１４回	フェイシャルマッサージ（打法）	打法の目的・効果・手順を理解し、時間内に行うことができる。	軽擦、強擦、揉撚、打法の目的、効果、手順を復習しておく。
第１５回	フェイシャルマッサージ（振動法）	振動法の目的・効果を理解し、正しい手順で行うことができる。	軽擦、強擦、揉捻、打法 振動法の目的、効果、手順を復習しておく。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１６回	フェイシャルマッサージ （振動法）	振動法の目的・効果・手順を理解し、時間内に行うことができる。	軽擦、強擦、揉捻、打法 振動法の目的、効果、手順を復習しておく。
第１７回	フェイシャルマッサージ （圧迫法）	圧迫法の目的・効果を理解し、正しい手順で行うことができる。	軽擦、強擦、揉捻、打法振動、圧迫法の目的、効果手順を復習しておく。
第１８回	フェイシャルマッサージ （圧迫法）	圧迫法の目的・効果・手順を理解し、時間内に行うことができる。	軽擦、強擦、揉捻、打法振動、圧迫法の目的、効果手順を復習しておく。
第１９回	フェイシャルパック （肌別対応）	パック塗布の目的・効果・手順を理解し肌にあわせたパックを塗布できる。	パックの（肌別対応）目的、効果、塗布の手順を復をしておく
第２０回	フェイシャルパック （肌別対応）	パック塗布の目的・効果・手順を理解し肌にあわせたパックを速やかに塗布できる。	パックの（肌別対応）目的、効果、塗布の手順を復をしておく
第２１回	拭き取り　（スポンジ）	パック拭き取りの目的・効果・手順を理解し肌にあわせたパックを塗布し、拭き残しなく除去できる。	パックの（肌別対応）ふき取りの目的、効果、手順の復習をしておく。
第２２回	拭き取り　（スポンジ）	パック拭き取りの目的・効果・手順を理解し肌にあわせたパックを塗布し、拭き残しなく除去できる。	パックの（肌別対応）ふき取りの目的、効果、手順の復習をしておく。
第２３回	フェイシャルマッサージ （復習）	クレンジングとマッサージとパックと仕上げまでを正しく行い、高齢者への対応も学び、実践できる。	フェイシャル技術の目的、効果、手順を理解し高齢者への対応を復習しておく。
第２４回	フェイシャルマッサージ （復習）	クレンジングとマッサージとパックと仕上げまでを正しく行い、高齢者への対応も実践できる。	フェイシャル技術の目的、効果、手順を理解し高齢者への対応を復習しておく。
第２５回	フェイシャルマッサージ （復習）	フェイシャルコースの目的・効果を理解し正しい手順で時間内に行うことができる。	クレンジングとマッサージ（基本6手技全て）の目的、効果を把握す
第２６回	フェイシャルマッサージ （復習）	フェイシャルコースの目的・効果を理解し正しい手順で時間内に行うことができる。	クレンジングとマッサージ（基本6手技全て）の目的、効果を把握す
第２７回	フェイシャルマッサージ （復習）	フェイシャルコースの目的・効果を理解し正しい手順で時間内に行うことができる。	クレンジングから仕上げまでの目的、効果、手順を復習しておく
第２８回	フェイシャルマッサージ （復習）	フェイシャルコースの目的・効果を理解し正しい手順で時間内に行うことができる。	クレンジングから仕上げまでの目的、効果、手順を復習しておく
第２９回	技術のまとめ	目的・効果・手順を正しく理解し、資格の合格基準を満たすことができる。	フェイシャルエステの知識（目的、効果、手順）を理解し確認。
第３０回	技術のまとめ	自分の欠点を見つけ、知識を確実なものとし、実践できるようになる。	フェイシャルエステの知識、技術を正しく理解し実践出来るよう確認する